

当社のコーポレート・ガバナンスの状況は以下のとおりです。

I コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

1. 基本的な考え方

当社では、「もっと素敵な伝え方を。」をコーポレートメッセージとし、インターネット、携帯電話網等のネットワーク上のコミュニケーションを豊かにする各種サービスの提供を通じて企業価値の向上に取り組んでおります。このために経営活動を効率的に遂行しその状況を監視・監督して健全な企業運営を続けていくことは取締役の最も重要な職務の一つであり、この過程で法令・定款にとどまらず社会規範など全てのルールを遵守する企業統治を求め、行動倫理・管理を遵守し、遵守させることはきわめて重要なことであるとと考えております。このために社員行動規範や内部統制システム構築に関する基本方針を設定し、株主、取引先、社員、社会など、全てのステークホルダーの利益に適い、信頼に応えられる会社として持続的発展を実現するべく努力しております。また、当社は上場会社であるトランス・コスモス株式会社の子会社であり、経営に際しては当社として独立した経営意思決定を行える体制を維持しつつ、同社グループとして持つ経営ノウハウ他多方面で発揮できる相乗効果を発揮してまいります。

2. 資本構成

外国人株式保有比率	10%以上20%未満
-----------	------------

【大株主の状況】更新

氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)
トランス・コスモス株式会社	62,562	44.60
株式会社NTTPCコミュニケーションズ	20,652	14.72
KDDI株式会社	15,228	10.85
リアルネットワークス・インク	14,820	10.56
株式会社みずほコーポレート銀行	420	0.30
バンク オブ ニューヨーク ジャーシー エム クライアント アカウント ジェイ ピー アール デイ アイ エス ジー エフ イー エイシー	415	0.30
小森 昭彦	369	0.26
瀬川 吉夫	358	0.26
野村證券株式会社	347	0.25
石松 俊雄	275	0.20

3. 企業属性

上場取引所及び市場区分	東京 マザーズ
決算期	3月
業種	情報・通信業
(連結)従業員数	100人以上500人未満
(連結)売上高	100億円未満
親会社	トランス・コスモス株式会社(上場:東京)
連結子会社数	10社未満

4. その他コーポレート・ガバナンスに重要な影響を与えうる特別な事情

当社はトランス・コスモス株式会社及びそのグループ会社と事業上の関係をもっております。トランス・コスモス株式会社は当社サービスの営業代理店であるほか、M&Aや各種事業上の情報を当社に随時提供しております。営業代理店として当社の全売上に占める割合は5%未満であります。トランス・コスモスグループ内において、グループ内企業各社と当社の事業領域は棲み分けがなされております。親会社兼任役員は当社独自の判断を妨げるほどのものではなく、当社は同グループ内で独立した地位を確立していると認識しております。当社とグループ会社との間における不適切な取引または会計処理を防止するため、必要に応じて内部監査を実施することとしております。

支配株主との取引等を行なう際における少数株主の保護の方策に関する指針

当社はトランス・コスモス株式会社(東証1部:9715)の連結対象子会社であり、同社は当社の親会社であります。

親会社及び親会社グループとの取引条件については、他の取引先との取引と同じく、契約条件や市場などを参考にしながら合理的に決定され、特別な取引条件はありません。

人的関係についても、社外取締役及び社外監査役に親会社の使用人各1名が就任しておりますが、当社の事業運営上の意思決定は、当社並びに全ての株主にとって最善の利益となるように当社独自で行っており、親会社からの独立性は確保されていると考えております。

II 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

1. 機関構成・組織運営等に係る事項

組織形態	監査役設置会社
------	---------

【取締役関係】

取締役会の議長	社長
取締役の人数	5名
社外取締役の選任状況	選任している
社外取締役の人数	2名

会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※1)								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i
早見 泰弘	他の会社の出身者	○		○		○	○	○	○	
酒井 博	他の会社の出身者			○		○			○	

※1 会社との関係についての選択項目

- a 親会社出身である
- b 他の関係会社出身である
- c 当該会社の大株主である
- d 他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している
- e 他の会社の業務執行取締役、執行役等である
- f 当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずる者である
- g 当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている
- h 本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している
- i その他

会社との関係(2) 更新

氏名	適合項目に関する補足説明	当該社外取締役を選任している理由
早見 泰弘	平成16年12月にトランス・コスモス株式会社入社。平成17年4月、同社執行役員営業総括デジタルマーケティング第三サービス営業本部長。平成17年6月、当社取締役に就任。平成19年4月、トランス・コスモス株式会社 常務執行役員デジタルマーケティングサービス総括 ウェブインテグレーション営業本部長に就任。平成21年4月、トランス・コスモス株式会社 執行役員デジタルマーケティングサービス本部長(現任)。	当社はトランス・コスモス株式会社の主導により設立された会社であり、その経緯から同社から取締役または監査役を受け入れ、ビジネス支援や経営に対する知見を経営に反映しております。当取締役は同社のBtoCビジネス関連の要職に就いており、業界に関する知見が豊富であることから当社取締役に就任しております。
酒井 博	昭和60年4月 日本電信電話株式会社に入社。平成16年7月 NTTコミュニケーションズ株式会社 経営企画部担当部長となる。平成18年7月 株式会社NTTPCコミュニケーションズ 経営企画部長に就任。平成19年6月 当社取締役に就任。平成20年6月、株式会社NTTPCコミュニケーションズ 執行役員経営企画部長となる(現任)。	当社は平成9年5月の会社設立時より株式会社NTTPCコミュニケーションズより出資を受けており、その経緯から同社より取締役または監査役を受け入れ、ビジネス支援や経営に対する知見を経営に反映しております。当取締役はNTTPCコミュニケーションズの経営企画を担う部署の要職に就いており、業界知識や経営に関する知見が豊富であることから当社取締役に就任しております。

その他社外取締役の主な活動に関する事項

社外取締役2名については、更新日に至るまで両名とも取締役にほぼ毎回出席しており、積極的な発言により当社に有意な活動を行っております。

【監査役関係】

監査役会の設置の有無	設置している
監査役の人数	4名

監査役と会計監査人の連携状況

監査役は、会計監査人と期中・期末で協議を行い、適時、会計面でのアドバイスを受けております。このような会計監査人との協議を通じて、監査役は自ら果たすべき監査業務を遂行しており、この際監査役の職務を補助すべき使用人を必要とする場合には、内部監査室が補助を行っております。

監査役と内部監査部門の連携状況

当社では内部監査室を設置しております。内部監査室では、総務人事部内に設置されているコンプライアンス事務局と連携して内部統制の状況を監査しております。これらの活動は定期的に監査役会及び取締役様に報告されており、必要に応じて監査役より内部統制の改善策の指導、実施の支援・助言が行われております。

社外監査役の選任状況	選任している
社外監査役の人数	3名

会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(1)								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i
諏訪原 敦彦	他の会社の出身者	○		○		○		○	○	
川北 栄一	他の会社の出身者			○					○	
山田 能弘	他の会社の出身者			○					○	

※1 会社との関係についての選択項目

- a 親会社出身である
- b その他の関係会社出身である
- c 当該会社の株主である
- d 他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している
- e 他の会社の業務執行取締役、執行役等である
- f 当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずるものである
- g 当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている
- h 本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している
- i その他

会社との関係(2) 更新

氏名	適合項目に関する補足説明	当該社外監査役を選任している理由
諏訪原 敦彦	平成12年7月にトランス・コスモス株式会社に入社。平成16年4月に同社経理財務本部シェアードサービス部長となる。平成20年10月 同社関係会社統括部国内関係会社部長となる(現任)平成21年6月当社監査役に就任。応用技術株式会社社外監査役、ダブルクリック株式会社社外監査役。	当社はトランス・コスモス株式会社の主導により設立された会社であり、その経緯から同社から取締役または監査役を受け入れ、ビジネス支援や経営に対する知見を経営に反映しております。当監査役は同社の関係会社管理部門の要職に就いており、企業集団の経営管理や経理財務面の知見が豊富であることから当社監査役に就任しております。
川北 栄一	昭和51年4月日本電信電話公社(現 日本電信電話株式会社)入社。平成17年4月株式会社NTTPCコミュニケーションズ 業務部長兼経営企画部情報マネジメント推進室長となる。平成18年6月、当社監査役就任。平成20年6月、株式会社NTTPCコミュニケーションズ 取締役 総務部長兼業務部長兼情報マネジメント推進室長兼ES推進室長に就任。平成21年7月、NTTコムチェオ株式会社 研修・人材事業部長に就任(現任)。	当社は平成9年5月の会社設立時より株式会社NTTPCコミュニケーションズより出資を受けており、その経緯から同社グループより取締役または監査役を受け入れ、ビジネス支援や経営に対する知見を経営に反映しております。当監査役はNTTPCコミュニケーションズを含めたNTTコミュニケーションズグループ企業の業務並びに経営の要職を歴任しており、経営を監査する知見が豊富であることから当社取締役選任に就任しております。
山田 能弘	昭和55年4月国際電信電話株式会社(現KDDI株式会社)入社。平成15年4月、同社中国総支社管理部長となる。平成20年4月 同社リスクマネジメント本部リスクマネジメント部担当部長となる。平成21年6月、同社 品川事業所管理部担当部長となる(現任)。平成21年6月当社監査役に就任。	当社は平成9年5月の会社設立時よりKDDI株式会社より出資を受けており、その経緯から同社より取締役または監査役を受け入れ、ビジネス支援や経営に対する知見を経営に反映しております。当監査役はKDDIのリスク管理部の要職の経験があり、経営管理面の知見が豊富であることから、当社監査役の任に就いております。

その他社外監査役の主な活動に関する事項 更新

川北氏は監査役会・取締役会にほぼ毎回出席しており、積極的な発言により当社に有意な活動を行っております。諏訪原、山田の両氏は平成21年6月の就任であります。

【インセンティブ関係】

取締役へのインセンティブ付与に関する施策の実施状況	ストックオプション制度の導入
---------------------------	----------------

該当項目に関する補足説明

当社が属する業界は新興の領域でありその社会的地位は他業界対比決して高いものではなく、また当社も業歴が短く、優秀な役員を募集するにあたって必要となるブランドや資金的裏付けが乏しい状態にあります。競争や浮沈の激しい業界にあつて優秀な人材の確保は業容の拡大や経営の改善に不可欠であり、こうした人材の募集や、社内の人材の勤労意欲増進のため、ストックオプション制度を導入しております。

ストックオプションの付与対象者	社内取締役、社外取締役、従業員、子会社の取締役、執行役、監査役、子会社の従業員
-----------------	---

該当項目に関する補足説明

当社が属する業界は新興の領域でありその社会的地位は他業界対比決して高いものではなく、また当社も業歴が短く、優秀な役員や従業員を募集するにあたって必要となるブランドや資金的裏付けが乏しい状態にあります。競争や浮沈の激しい業界にあつて優秀な人材の確保は業容の拡大や経営の改善に不可欠であり、こうした人材の募集や、社内の人材の勤労意欲増進のため、ストックオプション付与対象者を広範に設定しております。

【取締役報酬関係】

開示手段	有価証券報告書、決算短信
開示状況	その他

該当項目に関する補足説明 **更新**

社内取締役に対する報酬及び監査役に対する報酬それぞれの合計額の開示を行っております。平成21年3月期の有価証券報告書における記載額は、取締役を支払った報酬の総額が38,317千円、監査役を支払った報酬の総額が9,000千円であります

【社外取締役(社外監査役)のサポート体制】

監査役は会計監査人と期中で協議を行い、適時、会計面でのアドバイスを受けております。このような会計監査人との協議を通じて、監査役が自ら果たすべき監査業務を遂行するにあたり、監査役の職務を補助すべき使用人を必要とする場合には、内部監査室がその任にあたっております。また監査役は監査役の職務を補助すべき使用人の人事異動・人事評価について、事前に人事担当取締役より報告を受けるとともに、必要がある場合には、理由を付して当該人事異動・人事評価につき変更を人事担当取締役に申し入れることができるものとしております。また、当該使用人を懲戒に処する場合には、人事担当取締役はあらかじめ監査役会の同意を得るものとしております。

2. 業務執行、監査・監督、指名、報酬決定等の機能に係る事項

当社では以下のような経営管理システムを用いて、取締役及び従業員の職務執行の推進及び効率化を図っております。

- 取締役、従業員が共有する全社的な目標を定め、この浸透を図ると共に、この目的に基づく中期経営計画を策定する。
- 取締役会は、中期経営計画を具体化するため、中期経営計画に基づき、毎期、事業部門毎の業績目標と予算を設定する。研究開発、設備投資、新規事業については、原則として、中期経営計画の目標達成への貢献を基準に、その優先順位を決定する。同時に、各部門への効率的な人的資源の配分を行う。
- 各部門を担当する取締役は、各部門が実施すべき具体的な施策及び権限分配を含めた効率的な業務遂行体制を決定する。
- 月次の業績はITを積極的に活用したシステムにより月次で迅速に管理会計としてデータ化し、担当取締役及び取締役会に報告する。
- 取締役会は、毎月、この結果をレビューし、担当取締役に目標未達の要因の分析、その要因を排除・低減する改善策を報告させ、必要に応じて目標を修正する。
- 前項の論議を踏まえ、各事業部門を担当する取締役は、各事業部門が実施すべき具体的な施策及び権限分配を含めた効率的な業務遂行体制を改善する。

III 株主その他の利害関係者に関する施策の実施状況

1. 株主総会の活性化及び議決権行使の円滑化に向けての取組み状況

実施していません。

2. IRに関する活動状況 更新

	補足説明	代表者自身による説明の有無
アナリスト・機関投資家向けに定期的説明会を開催	当社ウェブサイト http://www.stream.co.jp/ にて生中継、録画映像配信を実施しております。	あり
IR資料のホームページ掲載	<ul style="list-style-type: none">● 決算情報● 決算情報以外の全ての適時開示資料● 有価証券報告書● 四半期報告書● 決算説明会資料● 決算説明会の映像● 株主向け報告書 等を当社ウェブサイト内「投資家向け情報」ページ http://www.stream.co.jp/investor/ に掲載しております。	あり
IRに関する部署(担当者)の設置	担当部署として総務人事部門内に広報IR課を設置しております。	

3. ステークホルダーの立場の尊重に係る取組み状況

実施していません。

IV 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

1. 当社の内部統制システムに関する基本方針は以下のとおりであります。

I. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

代表取締役社長は、取締役の職務執行に係る情報の保存及び管理につき全社的に統括する責任者を取締役の中から任命し、その者が作成する文書管理規程に従い、職務執行に係る情報を文書又は電磁的媒体に記録し、保存する。取締役及び監査役は文書管理規程により、常時、これらの文書等を閲覧できるものとする。なお、文書管理規程の改定については監査役会の同意を得るものとする。

II. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

次の経営管理システムを用いて、取締役の職務の執行の効率化を図る。

1. 取締役、従業員が共有する全社的な目標を定め、この浸透を図ると共に、この目的に基づく中期経営計画を策定する。
2. 取締役会は、中期経営計画を具体化するため、中期経営計画に基づき、毎期、事業部門毎の業績目標と予算を設定する。研究開発、設備投資、新規事業については、原則として、中期経営計画の目標達成への貢献を基準に、その優先順位を決定する。同時に、各部門への効率的な人的資源の配分を行う。
3. 各部門を担当する取締役は、各部門が実施すべき具体的な施策及び権限分配を含めた効率的な業務遂行体制を決定する。
4. 月次の業績はITを積極的に活用したシステムにより月次で迅速に管理会計としてデータ化し、担当取締役及び取締役会に報告する。
5. 取締役会は、毎月、この結果をレビューし、担当取締役に目標未達の要因の分析、その要因を排除・低減する改善策を報告させ、必要に応じて目標を修正する。
6. 上記5. の論議を踏まえ、各事業部門を担当する取締役は、各事業部門が実施すべき具体的な施策及び権限分配を含めた効率的な業務遂行体制を改善する。

III. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

コンプライアンス、環境、災害、品質、情報セキュリティ等に係るリスクについては、それぞれの担当部門にて、規則・ガイドラインの制定、研修の実施、マニュアルの作成・配布等を行うものとし、新たに生じたリスクについては、速やかに対応責任者となる取締役を定める。また、組織横断的リスク状況の監視並びに全社的対応は総務人事部が行い、各部門の業務に付随するリスク管理は担当部門が行うこととする。

IV. 取締役・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

取締役・従業員が法令及び定款を遵守し、健全な社会規範の下にその職務を遂行するため、取締役会は、「行動規範」を制定する。代表取締役社長は、繰り返し「行動規範」精神を取締役・従業員に伝えることにより、法令遵守をあらゆる企業活動の前提とすることを徹底する。

また、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては、組織全体として毅然とした態度で臨み、取引関係その他一切の関係を持たない社内体制を整備する。

これらの徹底を図るため、総務人事部門内にコンプライアンス事務局を設け、全社のコンプライアンスの取り組みを横断的に統括することとし、同事務局を中心に全社教育等を行う。内部監査室は、コンプライアンス事務局と連携の上、コンプライアンスの状況を監査する。これら活動は定期的に取り締り報告及び監査役会に報告されるものとする。

V. 監査役がその職務を補助すべき使用人をおくことを求めた場合における当該使用人に関する事項

監査役は、会計監査人と期中で協議を行い、適時、会計面でのアドバイスを受ける。このような会計監査人との協議を通じて、監査役は自ら果たすべき監査業務を遂行する。これに伴い、監査役の職務を補助すべき使用人を必要とする場合の職務を補助する組織を内部監査室とする。

VI. 前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項

取締役会は監査役の職務を補助すべき使用人の人事異動・人事評価について、事前に人事担当取締役より報告を受けるとともに、必要がある場合には、理由を付けて当該人事異動・人事評価につき変更を人事担当取締役に申し入れることができるものとする。また、当該使用人を懲戒に処する場合には、人事担当取締役は、あらかじめ監査役会の同意を得るものとする。

VII. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

取締役又は使用人は、監査役に対して、法定の事項に加え、全社の「当社及び当社グループ」に重大な影響を及ぼす事項、内部監査の実施状況、コンプライアンスの状況及びその内容を速やかに報告する。報告の方法（報告者、報告受領者、報告時期等）については、取締役と監査役との協議により決定する方法によるものとする。

VIII. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役による各取締役及び重要な各使用人からの個別ヒヤリングの機会を最低年数回（臨時に必要と監査役会が判断する場合は別途）設けると共に、代表取締役社長、監査法人それぞれとの間で定期的に意見交換会を開催する。

IX. 株式会社並びにその親会社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制

1. 当社並びに当社の親会社及び当社の子会社からなるグループ各社における内部統制の構築を目指す。当社にグループ各社全体の内部統制に関する事務局（総務人事部門内に設置のコンプライアンス事務局と内部監査室）を設けると共に、当社及びグループ各社間での内部統制に関する協議、情報の共有化、指示・要請の伝達等が効率的に行われるシステムを含む体制を構築する。
2. 当社取締役、各部門の部長、グループ各社の社長は、各部門の業務遂行の適正を確保する内部統制の確立と運用の権限と責任を有する。
3. 当社の内部監査室は、当社及びグループ各社の内部監査を実施し、その結果を内部統制に関する事務局及び上記2. の責任者に報告し、必要に応じて、内部統制の改善策の指導、実施の支援・助言を行う。

2. 当社の反社会的勢力排除に向けた体制の整備は以下のとおりであります。

I. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

1. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては、組織全体として毅然とした態度で臨み、取引関係その他一切の関係を持たない。
2. 反社会的勢力への対応は、担当者や担当部署だけに任せず、会社全体の問題として組織的に対応し、不当な要求等には断固として拒絶する。

II. 反社会的勢力排除に向けた整備状況

1. 行動規範に反社会的勢力排除に向けた基本方針を掲げ、当社及び当社の子会社からなるグループ各社の全社員に周知徹底するとともに、自社のウェブサイトにもこれを掲載する。
2. 新規の取引先は勿論、既存の取引先についても、専門調査機関を通じて定期的に調査を行い、反社会的勢力との関係排除に努める。
3. 反社会的勢力による不当要求に備え、平素より顧問弁護士、警察、社団法人警視庁管内特殊暴力防止対策連合会等の外部専門機関との連携を強化して、反社会的勢力に関する情報の収集や管理を行っている。

V その他

1. 買収防衛に関する事項

特段実施している事項はございません。

2. その他コーポレート・ガバナンス体制等に関する事項

